

13

北山さんは、駅前にある町の案内板を調べて改良すればよいところを考え、アイデアを提案することになりました。次は、調べたときの【メモ】と【提案文の構成表】、【提案文の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【メモ】

不便だと思ったところ

- ・地図の中で、目印になる建物を見つけにくい。

アイデア

- ・目印になる建物を目立たせる。

不便だと思ったところ

- ・漢字が多く使われている。

アイデア

- ・難しい漢字にふりがなをつける。

不便だと思ったところ

- ・歩いているうちにわすれたり、分からなくなったりしてしまう。

アイデア

- ・案内板と同じ地図がもらえる。

【提案文の構成表】	
はじめ	書く順序
中	書くこと
終わり	

町案内板

① A

② 目印になる建物を見つけにくい。

③ わすれたり分からなくなったりする。

① 難しい漢字にふりがなをつける。

② 目印になる建物を目立たせる。(文字・色)

③ 地図がもらえる。

初めての場所でも安心して行くことができる。

改良したいもの。不便だと思ったところ。

どのように改良するか。そのよさ。

改良するとどのように良くなるか。

【提案文の下書き】

わたしは、自分の住んでいる町が「やさしい町」になるように、駅前にある町の案内板について調べました。その結果、人が多く集まる場所に立っている町の案内板は不便なところがあり、改良したらもっと便利になると考えました。

不便だと思ったところは三つあります。一つ目は、漢字が多く使われていることです。難しい漢字だと、子どもには読めません。二つ目は、目印になるような建物が分かりにくいところです。目印になる建物の説明の文字が小さいので、目的の場所を探すのに時間がかかってしまいます。三つ目は、歩いているうちに忘れてしまったり、分からなくなってしまうことです。遠い場所や分かりにくい場所であれば、メモを取らなければ分からなくなってしまうです。

そこで、わたしは、町の中の案内板を次のように改良することを提案します。一つ目の改良は、難しい漢字にふりがなをつけることです。そうすれば、子どもでも案内板を見て目的地に行くことができます。

B

。目印になる建物に、大きな文字で説明が書かれていたり建物や文字の色が工夫されていたりすると、目印になる建物が目立って目的地を見つけやすくなります。また、目的地のボタンをおすと、その場所のランプがついて光るようになっていたり、もっといいと思います。自分のいる位置と目的地の関係がすぐに分かって便利だと思います。

三つ目の改良は、案内板と同じ地図をもらえるようにすることです。地図を見ながら歩くことができますと、道が分からなくなってもすぐに確かめることができます。また、覚えていなくても地図を見ながら行くことができますので、メモを取る必要がありません。

このように改良すると、便利で使いやすい案内板になると思います。道が分からなくても案内板があると安心することができます。

北山さんが考えた【提案文の構成表】の A の中に入るふさわしい文を、【メモ】の中の言葉からぬき出しましょう。

【書き加えた後の提案文の下書き】

三つ目の改良は、案内板と同じ地図をもらえるようにすることです。案内板にあるボタンをおすと、印刷した地図が出てきて、必要な人はだれでももらえるようにするとよいと思います。地図を見ながら歩くことができる、道が分からなくなってもすぐに確かめることができます。また、覚えていなくても地図を見ながら行くことができるので、メモを取る必要がありません。その地図に、迷いやすい場所のくわしい説明が書かれていると、もっとよく分かると思います。

※書き始めは、一ます空けないで書きましょう。とちゅうで行を変えないで書きましょう。

書き加えた。

60字

40字

一 漢字が多く使われている

二 **例**

二つ目の改良は、目印になる建物を目立たせることです
(「二つ目の改良は、」から書き出していること。同意可。)

三 **例**

案内板にあるボタンをおすと地図がもらえるようになることと、地図に迷いやすい場所の説明が書かれているとよく分かることを(書き加えた。)
(同意可。)